

## ガバナンス

# コーポレート・ガバナンス

▼ 方針・規定   ▼ 体制   ▼ 活動・パフォーマンス

## 方針・規定

### \* コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

OLCグループは、企業経営の透明性と公正性を高め、持続的な成長・発展を遂げ、かつ社会的な責任を果たしていくことが重要であると認識しています。このような認識のもと、「内部管理の充実」「経営の透明性の向上」「経営監視機能の強化」に取り組み、継続的にコーポレート・ガバナンスの強化に努めています。今後も企業倫理を尊重した誠実な経営を行うことにより、企業価値を向上させていきます。

## 体制

### \* コーポレート・ガバナンス体制

#### 監督責任と執行責任の明確化\* \* \*

当社グループの中核である株式会社オリエンタルランドは、執行役員制度により、取締役の役割を「監督」主体として経営の監督機能を強化しつつ、執行役員への権限委譲を通じて意思決定の迅速・適正化を図っています。

取締役会は、取締役10名（うち社外取締役2名）で構成され、原則月1回定期的に開催しており、常勤、非常勤を問わず、監査役も出席しています。

また、業務執行に関する重要事項の決議機関として、経営全体に関する案件を扱う「経営会議」を設置しています。

#### 取締役会の機能の独立性・客観性の強化\* \* \*

取締役の指名・報酬等に係る取締役会の機能の独立性・客観性を強化するため、取締役会の諮問機関として独立社外取締役が半数を占め、CEOを委員長とする任意の「指名・報酬委員会」を設置しています。本委員会は、取締役の指名や報酬に係る事案について、その妥当性を審議し、取締役会へ答申しています。なお、取締役の個別報酬額については取締役会より一任された本委員会で決定します。

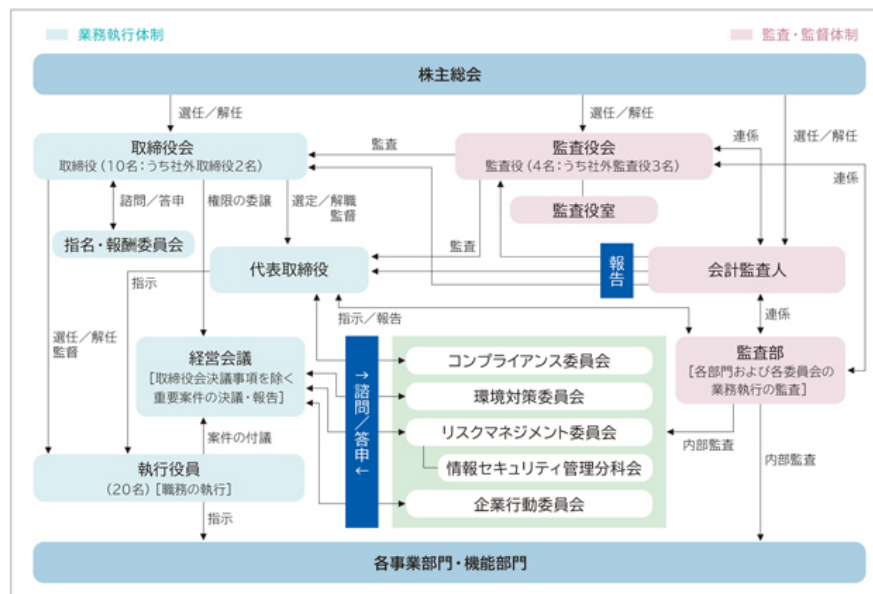
#### 監査の実効性確保\* \* \*

当社は、組織形態として、「監査役会設置会社」を採用しております。あわせて、「執行役員制度」を導入し、経営の監督機能を強化するとともに、意思決定の更なる迅速化を図っています。

社外の視点からの意見を受けることで、企業経営の透明性・公正性を確保するため、取締役会は、社外取締役2名を含む取締役10名で構成されています。また、当社監査役4名のうち3名が社外監査役で、客観的かつ独立的な立場からの意見を取り入れることで、監査役監査の実効性を高めています。

更に、コンプライアンス体制の徹底をはじめとした内部統制システムを整備するための体制として、各種の委員会を設置することで、内部管理体制の充実を図っています。

● コーポレート・ガバナンス 基本的な体制の概要



2021年10月現在

● コーポレート・ガバナンス体制一覧 (2021年10月1日現在)

組織形態	監査役会設置会社	
経営管理体制	執行役員制度	
取締役関係	取締役の人数	10名*1
	定款上の取締役の任期	1年
	取締役会の議長	取締役会長*2
	任意の委員会 (指名・報酬委員会)	設置している
監査役関係	監査役会の設置の有無	設置している
	監査役の人数	4名*3
社外取締役および監査役関係	社外取締役の人数 (うち、独立役員)	2名 (2名)
	社外監査役の人数 (うち、独立役員)	3名 (2名)

\*1 定款上の取締役の員数は15名以内となっています。

\*2 取締役社長を兼任している場合を除きます。

\*3 定款上の監査役の員数は6名以内となっています。

[監査役]

- 監査役4名のうち3名が社外監査役です。
- 常勤監査役2名は、取締役会だけでなく、経営会議、そのほか監査役が重要と認めた会議・委員会に出席し、意見を述べています。
- 監査方針および監査基本計画に基づき、取締役および従業員からの報告聴取、重要書類の閲覧などを行うとともに、重要会議の審議状況や監査結果などについて監査役の間でも議論を行っています。
- 監査役の職務を補助する監査役室に専任スタッフを置いているほか、社内規定により役職員が監査役に必要かつ適切な情報を適時報告することを定め、監査の実効性の確保に努めています。

[監査部、会計監査人]

- 法令および社内規定の遵守と効率的な業務執行については、内部監査を実施すべく執行部門から独立した監査部を設置し、内部統制の充実を図っています。
- 会計の適正さを確保するため、有限責任あずさ監査法人により監査を受けています。

常勤監査役、監査部、会計監査人は、定例会議のほか、随時連絡・報告の場を設け、連携しつつ監査を実施しています。

## 活動・パフォーマンス

---

### 財務報告に係る内部統制の推進

財務報告の信頼性を確保するため、金融商品取引法に定められた「財務報告に係る内部統制」全体を推進する組織として「内部統制推進会議」を設置し、当社グループの内部統制に関する体制を整備しています。2021年3月31日現在の当社の連結財務報告に係る内部統制は有効であると判断し、外部監査人の監査を経て、内部統制報告書として提出しています。今後も、整備・運用状況の評価を継続して行い、内部統制の強化に努めていきます。

#### 関連情報

[コーポレート・ガバナンス報告書](#)  (251KB)

[内部統制システム構築の基本方針](#)  (280KB)

## 方針・規定

### \* コンプライアンス体制の徹底

#### OLCグループ・コンプライアンス行動規範\* \* \*

OLCグループでは、役職員の倫理・法令遵守に関する規範として『OLCグループ・コンプライアンス行動規範』を制定しています。

#### OLCグループ・コンプライアンス行動規範（2006年4月制定）

OLCグループ役職員は、高い倫理観のもと、法令や社会的規範を遵守し、

- (1) 安全を何よりも優先します。
- (2) 人権を尊重し、差別やハラスメントを防止します。
- (3) 公正、透明な取引を行います。
- (4) 個人情報を含む秘密情報を厳格に管理します。
- (5) 反社会的な勢力に対しては毅然とした対応を行います。

#### ビジネスガイドライン\* \* \*

当社グループのすべての役職員を対象に、コンプライアンスを実践するための具体的な行動基準として『ビジネスガイドライン』を定めています。『ビジネスガイドライン』の内容は、冊子を配布したりイントラネット内で閲覧できる環境を整えたりするなどして全従業員に周知しています。

『ビジネスガイドライン』では、「誠実であること」、「真摯であること」を根底におきながら、あらゆる場面で従業員一人ひとりが強い意志を持ってコンプライアンスを実践する必要があると示しています。



#### ビジネスガイドラインの構成

- 安全の優先（期限管理、職場の安全・環境・健康管理、時間外勤務など）
- 人権の尊重（児童労働・強制労働への関与禁止、人権に配慮した情報発信、あらゆるハラスメント禁止など）
- 公正な取引（お取引先選定のポイント、独占禁止法、下請法の遵守、贈収賄の禁止など）
- 情報の管理（個人情報管理、知的財産の保護、SNS利用の注意点など）
- 反社会的勢力への対応（要求に屈しない姿勢や対処など）

## 体制

---

### コンプライアンス委員会

会社経営の適法性確保やコンプライアンス精神の徹底を図るための組織として、社長が指名する者を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置しています。

役職員の不正行為または法令、定款に違反する重大な事実を発見したときは、必要な調査を行ったうえで、その都度すみやかに、委員長（社長が指名する者）、社長および監査役に報告を行います。

また、相談通報案件について、コンプライアンス委員会、社長および経営会議、取締役会に、定期的に報告することとしています。なお、2020年度は重大な法令違反はありませんでした。

### 従業員相談窓口

社内と社外に、当社グループにおけるハラスメント、情報管理等のコンプライアンスに関する相談通報窓口を設置しています。

また、雇用区分に応じた相談窓口やOLCグループ会社各社にも従業員相談窓口を設置するなど、従業員が相談しやすい体制を構築しています。

相談通報窓口としての実効性を確保するため、相談者・通報者が匿名にて相談できるなど不利益を被ることがないよう社内規定で明記しています。

## 活動・パフォーマンス

---

### コンプライアンスセミナー

コンプライアンスに関する社員教育を年1回実施し、知識と意識の向上を図っています。具体的には、外部講師を招いてのセミナーの開催や、社員の職位に適した内容のコンプライアンス教育を展開しています。

特に管理職に対しては、社内外におけるハラスメント、情報管理等のコンプライアンス関連事案を自組織に置き換え、問題点の追及およびアクションプランを立案するセミナーを継続的に実施しています。

### コンプライアンスアンケート調査

コンプライアンス遵守状況の定点調査および違反状況の実態把握を目的として、定期的に従業員へのコンプライアンスアンケート調査を実施し、継続的なモニタリングを行っています。

方針・規定・体制

✿ リスク管理体制

OLCグループは、『OLCグループリスク管理規程』に基づき、事業活動における幅広いリスクの予防・対応を行っています。平時のリスク管理の推進組織として「リスクマネジメント委員会」を設置するとともに、緊急時対応の統括組織として「ECC（Emergency Control Center）」を立ち上げ、対応します。

また、地震リスクについては、物資・資材、救護計画などを定めた地震対策基本計画に基づき、各組織が取るべき行動を示した対応マニュアルを整備しています。大規模な地震発生時には、株式会社オリエンタルランドの社長を本部長とした「地震対策統括本部」を設置し、対応にあたります。

新型コロナウイルス感染症への対応については、株式会社オリエンタルランドの社長を本部長とした「東京ディズニーリゾート感染症対策統括本部」を設置し、新型コロナウイルス感染症に関する情報収集や、密閉空間・密集場所・密接場面を回避する手順の策定、感染予防策の実施など、感染防止のための体制整備を行っています。

ECCが設置される具体的なリスク


地震、火災、台風、雪、雷、停電、事故、食中毒、感染症、テロなど

✿ BCP（事業継続計画）への取り組み

当社グループは、地震・火災・台風等の緊急時対応を統括する組織ECC（Emergency Control Center）を設置し、災害発生時に人的・物的被害を最小限に抑えて業務を早期に回復する体制を整備しています。2011年3月に発生した東日本大震災以前から大規模災害等が起きた際の業務継続に取り組んでいますが、さらなるBCPの取り組みを検討しています。

2019年2月には、地震発生時に当社グループの判断で50～1,500億円の借入が可能な借入枠を設定した資金調達方法に改定しました。

地震リスク対応型コミットメント期間付タームローン

	地震発生時の主なフロー	ポイント
1	OLCグループ判断による資金調達	OLCグループが運転資金に必要な金額を決定
2	地震が右図の赤枠内を震源としてM7.9以上の規模の場合  期限前返済請求の行使事由	200～300年間隔で発生 【過去の同レベルの地震】 1923年 関東大震災 1703年 元禄関東地震  直近の発生確率 今後5年間で1%程度   注：専門機関である応用アル・エム・エス株式会社による試算
3	銀行による期限前返済請求の判断  銀行から返済請求があった場合	貸付残高ベースで、銀行の過半数が期限前返済を必要とした場合に限り、各銀行は期限前返済請求が可能
4	OLCグループによる返済手段の決定 現金など 新株予約権	現金やその他資産など、OLCグループが返済方法を選択する  新株予約権の行使においては、内外環境を勘案したうえで、慎重な経営判断を行った場合のみ行使されるため極めて限定的

1995年1月に発生した阪神・淡路大震災を機に、事業の継続のための手元流動性確保を目的に地震リスク対応型ファイナンスを導入しています。財務的な備えもあり、東日本大震災の際も事業を継続し、業績の早期回復を支えることができました。さらに経営戦略、事業環境を踏まえ、ファイナンスの内容を適宜改訂しています。

資金調達額を増やすことができるとともに、資金が必要になる時点まで調達をしない方法により、低コストな運用を実現しました。M7.9以上の地震発生時、銀行は期限前弁済の請求ができますが、当社グループは現金その他資産で弁済できるため、新株予約権の行使は極めて限定的です。

#### 特 徴

- 柔軟な手元流動性の確保に加え、長期的な借入が可能
- 借入枠の設定によりバランスシートへの負担を軽減
- 弁済方法として、現金やその他資産、新株予約権をOLCグループが選択

期間	借入枠は2019年3月13日より5年間の設定 借入実施後は、最長2079年3月まで借入可能 ただし、2024年3月13日以降は、OLCグループ判断により現金にて期限前返済が可能
資金調達額	50億円～1,500億円 地震リスク発生時に、運転資金に必要とOLCグループが判断した金額を調達
弁済順位	劣後特約を付さないことで、一般債務と同様の弁済順位となる
コミットメントフィー	1,500億円の借入枠に対して0.20%（年率）
十分な調達額かつ低コストでヘッジが可能	

## ✳ 情報セキュリティ管理体制

当社グループは、情報管理に関する基本的な考え方を『OLCグループ情報セキュリティ基本方針』に示しています。また、具体的な行動指針を『OLCグループ情報セキュリティポリシー』で明確にし、同ポリシーに則って情報セキュリティ管理体制を整備しています。また、情報の管理を統括する組織として、リスクマネジメント委員会に総務部担当役員\*（取締役常務執行役員）を分科会長とした「情報セキュリティ管理分科会」を設置し、「OLCグループ情報セキュリティポリシー」の遵守状況の確認、従業員への教育案・啓発推進案の策定など、情報セキュリティ管理レベルの向上を推進しています。

このほか2013年1月に、ソーシャルメディア上での情報管理や情報発信に関するルールを定めた『OLCグループソーシャルメディアガイドライン』を制定しました。このガイドラインをもとに、ソーシャルメディアも含めた情報セキュリティ管理レベルの向上を図っています。

\*現在の総務担当役員は、2014年～2017年に執行役員としてITセキュリティ含む全社IT業務を統括

### OLCグループ情報セキュリティ基本方針（2005年3月制定）

1. OLCグループは、OLCグループの事業活動に関わるすべての情報（以下「情報資産」という。）に対して保有者、情報資産の価値に基づく重要度、機密性のレベルおよびアクセス権を定め、適切な管理を行います。
2. OLCグループは、OLCグループ各社が情報資産の管理のために行うべき対応および役職員として取るべき行動を具体的に示すものとして「OLCグループ情報セキュリティポリシー（以下「ポリシー」という。）」を制定します。
3. OLCグループおよびその役職員は、情報資産の管理および取り扱いに関し、関連諸法規を遵守します。
4. OLCグループは、情報資産が情報システムやネットワークにより処理・保持される場合、適切な技術的セキュリティ対策を施します。
5. OLCグループは、役職員に対して情報セキュリティ管理を周知徹底するため、計画的に教育・研修を行います。
6. OLCグループは、本基本方針およびポリシー等のドキュメント類や管理手法に関する再評価、遵守状況の監視を継続して行います。

さらに当社グループでは、お客さまの個人情報の保護を徹底しています。

➤ [株式会社オリエンタルランドのプライバシーポリシー](#)

➤ [東京ディズニーリゾート事業のプライバシーポリシー](#) 

## 方針・規定・体制

### ✳ 基本姿勢

OLCグループは、すべてのステークホルダーに対し、積極的な情報開示を行っています。金融商品取引法などの情報開示に関する各種法令や、東京証券取引所の定める適時開示規則を遵守することはもちろんのこと、当社グループの事業活動を理解・評価するために必要と思われる情報をニュースリリースやホームページ、説明会などさまざまな方法で、公正かつ適時・適切に開示しています。

このような透明性の高い情報開示を行うことで、ステークホルダーとの相互理解と信頼の形成を図り、当社グループの経営姿勢のひとつである「対話する経営」を実践しています。さらに、ステークホルダーからいただいた意見や評価は、定期的に経営層に報告され、経営に活用されています。

### ✳ ネガティブ情報の開示

当社グループは、コンプライアンスや安全・品質管理の徹底に努めていますが、それでもなお防止できなかったケースなどについては、ニュースリリースなどを通じて迅速な情報開示を実施しています。今後も、ネガティブ情報についても、適時・適切な情報開示を実施していきます。

## 活動・パフォーマンス

### ✳ OLCグループのIR活動

#### IR活動の内容と積極的な情報開示、社内へのフィードバック✳✳✳

当社では、経営トップおよび担当役員・部長をサポートする8名（2021年10月1日現在）の専従スタッフが、常に情報開示の透明性・迅速性の向上を図り、四半期ごとに行う決算説明会の資料などについて、わかりやすい開示に努めています。

経営陣と株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション機会を重要と考え、株主・投資家の皆さまとの意見交換会、証券会社主催の国内外コンファレンスへの参加なども行っています。

また、株主・投資家の皆さまの声を社内に丁寧に伝えるために、経営陣への報告にとどまらず、決算説明会資料を使った従業員向けの動画配信を実施しています。

株主の皆さまから寄せられたご意見、ご要望、評価については、定期的に社内にフィードバックすることで、経営の改善や活用につなげるよう努めています。

ステークホルダー	主な対話方法		2020年度実績
全ステークホルダー	IR資料の開示	決算短信、有価証券報告書、四半期報告書、決算説明会資料、アニュアルレポート、ファクトブックなどを公式ウェブサイトでご公開しています。	適宜更新
株主・投資家	決算説明会の開催	電話説明会などを開催し、決算概要や中期経営計画の進捗状況などについて説明しています。	4回 (四半期に1回)
	個別取材対応	決算説明会のフォローアップやESGに関する個別取材に対応しています。	のべ約400名
	IRカンファレンスへの参加	証券会社主催の国内外IRカンファレンスに参加しています。	11件、 のべ約100名
金融機関	Debt IRの実施	資金調達に伴い、金融機関に対して財務状況や経営戦略などを説明しています。	適宜
従業員	決算説明動画の配信	決算の内容や戦略の進捗を従業員に伝えるとともに、株主・投資家から得た意見や反応を社員にフィードバックする機会を提供しています。	2回 (半期に1回)